

一般社団法人日本鉱物科学会  
2020年度第1回臨時理事会 議事録

【1】招集通知年月日：2020年(令和2年)11月27日(金)

【2】開催年月日及び時刻：2020年(令和2年)12月7日(月)  
13:00～14:00

【3】メイン開催場所：東北大学理学部理学合同A棟4階402室  
日本鉱物科学会事務局  
980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)

【4】理事総数および定足数：総数22名，定足数12名

【5】出席理事数(20名 WEB会議参加)

宮脇律郎，大和田正明，安東淳一，阿部なつ江，井上 徹，  
池田 剛，磯部博志，大藤弘明，鍵 裕之，片山郁夫，  
川本竜彦，河上哲生，栗林貴弘，黒澤正紀，辻森 樹，  
土屋範芳，永島真理子，伴 雅雄，三宅 亮，吉朝 朗

【6】欠席理事数：2名

坂本尚義，長瀬敏郎

【7】出席監事：小暮敏博

【8】オブザーバー：(その理事会に招集された理事以外の幹事，  
報告者など)

出席：高澤栄一(GKK編集幹事代理)、森下知晃(Elements幹事)、  
門馬綱一(JPGU2021年プログラム正委員)、  
西原遊(同副委員)

【9】議事概要

WEB会議システムを用いて理事会を開催するにあたり，黒澤  
庶務幹事および宮脇会長から，進行方法について説明された。  
はじめに，宮脇会長により出席者の中から議長の選出があり，  
黒澤庶務幹事が議長に選出され，満場一致で承認された。  
続いて，黒澤議長により，開始時刻(定刻)における出席理事数が  
確認され，理事の出席者数は19名であった。この数は，定足数(12  
名)を満たしており，理事会として成立することが確認され，WEB  
会議システム(ZOOM Meeting)を用いた2020年度第1回臨時理事  
会の開催が宣言された(なお，最終参加理事数は20名)。併せて，  
黒澤議長によりWEB会議システム通信状況の確認作業を全参加  
者に対して行い，適時的確な意見表明が互いに行われる状態である  
ことを確認した。会議に先立ち，書記の選出が行われ，黒澤議長  
により栗林理事が推薦され，異議なく書記に選出された。

## 1. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件(阿部会員幹事・理事)

阿部会員幹事から，一般会員1名(記載省略)の入会申請が紹介さ  
れ，異議なく入会が承認された。

第2号議案 各委員会委員承認の件(宮脇会長)

宮脇会長から，各委員会の新任委員について各委員会委員長から  
推薦されたことが紹介され，異議なく新任委員が承認された。(下  
記，各委員会の下線で示された方々が今回承認された委員)

(1) 細則等検討委員会

委員長：大和田正明(特務幹事細則等検討担当，理事)  
委員(委員長指名)：角替 敏明，川本 竜彦(理事)，亀井淳志，  
黒澤正紀(理事)

(2) 日本鉱物科学会賞選考委員会

委員長(会長指名)：土屋範芳(理事)  
副委員長(委員長指名)：井上 徹(理事)  
委員(委員長指名)：奥地拓生，寅丸 敦志，鍵 裕之(理事)，  
川本竜彦(理事)，糀谷 浩，佐藤 努，中村美千彦，永井隆哉，  
宮脇律郎(会長)

(3) 渡邊萬次郎賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名，今回申し合わせで前年度  
副委員長)：黒澤正紀(理事)  
副委員長(1期目新委員から委員長指名)：長瀬敏郎(理事)  
委員：(2期目継続委員4名)：  
鍵 裕之(理事)，永井隆哉，宮脇律郎(会長)  
(1期目委員4名委員長指名)：  
高木 哲一，伴 雅雄(理事)，長瀬敏郎(理事)，吉朝 朗(理事)

(4) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名，今回申し合わせで前年度  
副委員長)：富岡尚敬  
副委員長(1期目新委員から委員長指名)：糀谷 浩  
委員：(2期目継続委員5名)：磯部博志(理事)，大藤弘明(理事)，  
黒澤正紀(理事)，永井隆哉  
(1期目委員5名委員長指名)：糀谷 浩(副委員長)，伴 雅雄  
(理事)，辻森 樹(理事)，石丸聡子，越後拓也

(5) 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名，今回申し合わせで前年度  
副委員長)：長瀬敏郎(理事)  
副委員長(1期目新委員から委員長指名)：河上哲生(理事)  
委員：(2期目継続委員5名)：川本竜彦(理事)，高澤栄一，辻森 樹  
(理事)，伴 雅雄(理事)  
(1期目委員5名委員長指名)：河上哲生(理事)，大場 司，  
井上 徹(理事)，三宅 亮(理事)，小松一生

(6) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名，今回申し合わせで前年度  
副委員長)：佐藤 努  
副委員長(1期目新委員から委員長指名)：川野 潤  
委員：(2期目継続委員5名)：富岡尚敬，長瀬敏郎(理事)，宮脇  
律郎(会長)，門馬綱一  
(1期目委員5名委員長指名)：池田 進，奥寺浩樹，川野 潤，  
中塚晃彦，森本和也

第3号議案 2022年年会開催場所について(磯部行事幹事・理事)

磯部行事幹事から，2022年年会開催場所について経緯と候補地に  
関して説明があり，2022年年会開催地として新潟大学(運営委員  
長：小西博己会員)が提案され，異議なく開催地と運営委員長が  
承認された。

第4号議案 学術会議に対する声明文(宮脇会長)

宮脇会長から，学術会議に対する声明文に関わる，日本鉱物科学  
会の方針(対応)について説明があり，「学術会議の声明文につい  
て，鉱物科学会としては，統一した総意としての賛同をまとめる  
取り付けることは難しく，参加を見送ることとした。今後は，賛  
同する各会員が個人として署名活動等に参加すること」との方針  
としたい旨が提案され，異議なく承認された。

併せて、阿部理事からも、JpGU側と学会議の関係や今回の件で明るみに出た、学会議の学術協力団体への対応不足などについて簡単な説明がなされた。

#### 第5号議案 持続化給付金申請について(栗林会計幹事・理事)

栗林会計幹事から、持続化給付金申請に関する説明がなされ、日本鉱物科学会の申請資格や条件を精査した結果、「本学会は、申請資格を有しているが、持続化給付金の本来の意義である『新型コロナウイルス感染症拡大により、営業自粛等によって特に大きな影響を受けた』という点において要件を満たしているとは言えないことから、社会的道義から申請を控えており、今後もこの方針を続けたい」との方針が提案され、申請しない方針が承認された。また、阿部理事から今年のJpGU大会での財政上の問題が紹介され、本学会の申請しない対応について賛成意見が述べられた。その後、川本理事から、提案内容の文言の中の「社会的道義」という言葉の使用について質問があり、双方の質疑の後、申請しない理由から以下の様に「社会的道義」の文言を削除することとした。

修正案：「本学会は、申請資格を有しているが、持続化給付金の本来の意義である『新型コロナウイルス感染症拡大による営業自粛等によって、特に大きな財政上の影響を受けた』という実態があるとは言えないことから、申請を控えることとし今後もこの方針を継続する」

#### 第6号議案 Elements 誌の2021年予算承認・加盟学会交代などの案件(宮脇会長)

宮脇会長から、Elements誌の2021年予算承認・加盟学会交代などの案件に対する日本鉱物科学会の対応方針に関する説明と提案がなされ、以下の各対応方針について承認された。

- 1) 全加盟学会の2020年下期(7月請求の8, 10, 12月分)の分担金についてこれまでの累積黒字によって今回限り免除することに賛成する。
- 2) 2021年の予算案を承認する。
- 3) the Swiss Society of Mineralogy and Petrology に代わり the Swiss Geological SocietyをElements誌加盟学会とする申請を承認する。

#### 11. その他

1. 阿部理事から、日本鉱物科学会研究奨励賞規定の年齢制限(37歳以下)について、規定の変更をしてはどうかとの提案がなされた。審議の結果、変更案を阿部理事の方で作成し、庶務幹事または会長宛に提出することとなった。
2. 宮脇会長から規則変更の提案方法について説明があり、その方法を今後検討することになった。

#### 【10】閉会

以上の議事を終え、14時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和2年(2020年)12月11日

会長	宮脇 律郎	印
副会長	大和田 正明	印
監事	小暮 敏博	印

(配布時押印省略)